

かやぶき民家 (旧小阪家住宅) について

このかやぶき民家は、18世紀後期に建てられたと推定される芦屋市三条町の旧小阪家住宅を、この地に移築復原したものです。

当民家は江戸時代に庄屋も務めた小阪家が建てたものであり、その学術的価値から平成6年(1994年)に芦屋市指定文化財に指定されました。

しかし、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で全壊し解体を余儀なくされ、部材は解体調査の後、芦屋市に寄贈され保管されてきました。

平成28年(2016年)に兵庫県が譲り受け、その後、尼崎の森中央緑地に里山の暮らしが体験できる施設として移築復原されました。

六甲山南麓で現存する江戸時代のかやぶき民家はこの建物だけであり、その兵庫県下における学術的価値が評価され、兵庫県指定重要有形文化財として指定されています。

この建物は、入母屋造、茅葺、平入で正面を南に向け、本瓦葺きの下屋を四面におろし、間取りは、正面側の2室の間仕切と背面側の2室の間仕切の位置が喰い違ふ喰違四間型となっています。



建物概要

建築年代：18世紀後期と推定

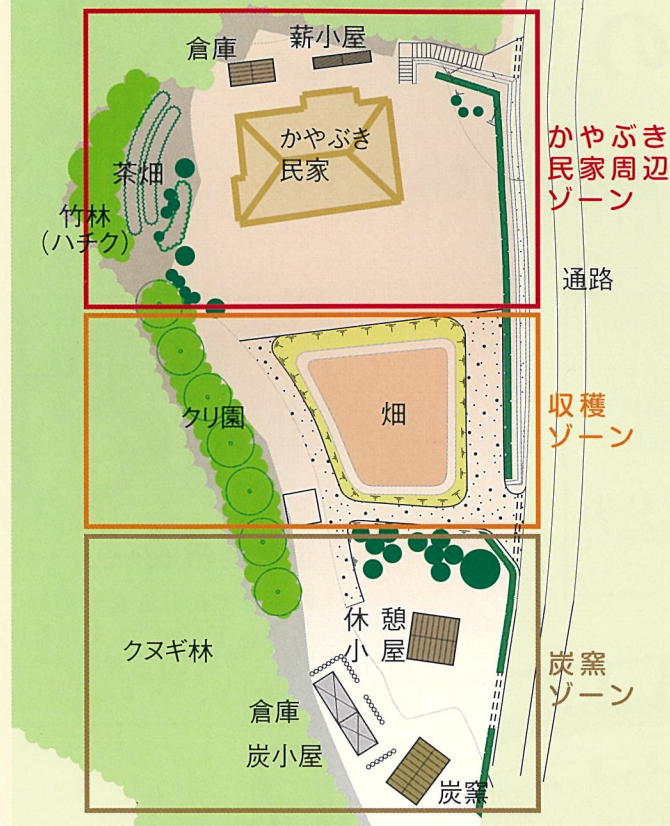
構造様式：入母屋造 茅葺き木造平屋建て

延床面積：153㎡

指 定：兵庫県指定重要有形文化財

(2018年3月20日)

かやぶき民家周辺の整備計画図 (予定)



アクセス



【公共交通機関の場合】
 阪神電鉄出屋敷駅から阪神バスに乗り、尼崎スポーツの森にて下車し徒歩5分。
 【お車の場合】 阪神高速5号湾岸線、尼崎末広I.C.から西に1km。
 【駐車場】 有(無料)

尼崎の森中央緑地パークセンター

〒660-0096 兵庫県尼崎市扇町33-4

TEL.06-6412-1900

開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始

かやぶき
民家

~旧小阪家住宅~



兵庫県立 尼崎の森中央緑地